

令和5年度 学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価の実施について

学校は、教育活動・その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るために必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。これを実行する為に学校関係者評価を実施した。

2. 開催日時 令和6年5月25日 午後6時

3. 開催場所 本校 白井校舎2階教室

4. 学校関係者評価出席者

氏名	所属・役職	区分	備考
今井 亘	理事長		
正示 彰	校長		
花本 浩司	副校長		
小谷 秀則	副校長		
田中 守	有限会社キープ 代表取締役社長	関連業界企業	
潮田 雅司	株式会社ホンダベルノ市川 係長	卒業生	
野口 弘樹	ローヤル通商株式会社 取締役	卒業生	
飯田 裕美子	事務局長	学校	
石井 敏之		学校	

5. 令和5年度学校自己評価に対する評価委員会からの意見、提言等

① 教育理念・目的について

明確な教育理念・目的・人材育成像が確立している。又それを実現する為に先を見据えた特色ある教育活動がなされている。

② 学校運営について

学校の運営方針・事業計画等明確に定められおり教職員にも浸透している。人事や賃金での処遇に関して制度等は概ね整備されているが、情報システム化では昨年より改善が見られた。

③ 教育活動について

教育の基盤となるカリキュラムや教育目標は、明確に定められている。又、入学時点での学力が低い学生の割合が年々増加している現状を受け、毎年授業の進め方や教材の見直しも行われている。

④ 教育成果について

就職率については、以前より良好な状態を維持している。退学率に関してはしっかりと対策され、低減が図られている。しかしながら資格取得率に関して改善は見られるものの、更に対策が必要と考える。

⑤ 学生支援について

学生への支援体制は概ね整備されており、学業に専念し充実した学校生活を送れている。

⑥ 教育環境について

教育環境及び教育体制は常に点検されており良好であるが、防災では非常時に対する備蓄等の配備が進んでおらず、早急な改善が必要である。

⑦ 学生募集と受け入れについて

18歳人口の減少に伴い学生募集が年々厳しくなっているが公平かつ適正な募集活動行えている。

⑧ 財務について

非常に健全な運営がなされている。

⑨ 法令等の遵守について
法令に遵守した運営がなされている。

⑩ 社会貢献について
教育機関、企業・団体、地域との連携・交流等概ね順調である

6. 学校関係者評価を受け
学校関係者評価委員会の取り組みを通じて、学校全体として以前より充実した活動がなされているが、この度の委員会での課題に早急に取り組み、更なる教育活動の充実と改善がなされていくことが期待される。